| 科目ナンバリング | U-LAS41 10001 PJ49 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<英訳> | スポーツ実習ＩＡ ［テニス］<br>Sports I A [Tennis] | | | 担当者所属職名・氏名 | 医学研究科　教授　　高桑　徹也 | | |
| 群 | 健康・スポーツ科目群 | 分野(分類) | スポーツ実習 | | | 使用言語 | 日本語 |
| 旧群 | D群 | 単位数 | 1単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 実習（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2026・前期 | 曜時限 | 金1 | 配当学年 | 全回生 | 対象学生 | 全学向 |

**[授業の概要・目的]**

テニスというスポーツを通して、身体能力の向上、運動する生活習慣を身につける。
チームプレー、リーダーシップ、マナー、救急対応,、コミュニケーション技術、パートナーへの思いやり、相手への敬意、公平なルールの運用と遵守、など、テニスを通じて人間として大切なことを身につけるのもこの実習の目的である。

**[到達目標]**

テニスの楽しさを知り、継続して行いたくなることを目標とする。

**[授業計画と内容]**

各クラスにより指定された授業時間帯に、各種スポーツ種目を選択する。
次に示すような内容で授業を行う。

第1回：　ガイダンス（テニスコート）
第2-7回：　基礎技能練習；グランドストローク（フォア、バック）　ボレー、スマッシュ、サーブ等テニスの基本要素について実習する。
第8-14回：　基礎技能練習にくわえ、ダブルスの基本戦術（雁行陣等）について学ぶ。
いずれの回も後半の時間はゲーム、ゲーム形式を行う。
第15回：　フィードバック

授業は吉田南テニスコートで行う。
実習開始前、後はストレッチを行い健康維持、管理を行う。

**[履修要件]**

初級者を中心としたプログラムを想定している。初心者でも積極性と向上心、他のスポーツの経験があれば対応可能と思われる。
上級レベルの学生には物足りないかもしれないが、他の学生を指導することが可能であれば歓迎する（要相談）

**[成績評価の方法・観点]**

平常点（出席状況、実習への取組み態度）により評価する。詳細は初回授業の時に説明する。

**[教科書]**

使用しない

**[参考書等]**

（参考書）
授業中に紹介する

スポーツ実習ＩＡ ［テニス］(2)へ続く↓↓↓

**スポーツ実習ＩＡ　［テニス］(2)**

**[授業外学修（予習・復習）等]**

テニスを含めたスポーツや健康増進に関心を持ち、各自の日常生活に取り入れる。

**[その他（オフィスアワー等）]**

テニスシューズ、運動に適した服装を着用すること。
ラケットやボールは大学で準備します。
めいめい、気候の変化に対応した対策をすること
雨天等で十分な実習回数が確保できない場合は、補講、レポート課題を課すことがある。
スポーツ実習の履修には保険への加入が必要です。原則として「学生教育研究災害傷害保険」（学研災）および「学研災付帯賠償責任保険」（付帯賠責）に、留学生は学研災および「学生賠償責任保険」（学賠）に加入して、授業に参加してください。

**[主要授業科目（学部・学科名）]**